

ハリーナ. 2011; 2(14): 10.

水俣と日本の今 その2 甘夏生産者たちの思い

原田利恵

甘夏の歴史は水俣病の歴史と重なる。初期の水俣病患者の多くは漁師で、水俣病のため漁ができなくなると陸に上がって甘夏をつくり始めた。自らの身体が化学物質で侵されたのだからと、農薬を排除した甘夏づくりに取り組み、都市部で売り上げが伸びてきたところ、一部支援団体の甘夏が、農薬を使用しているにも関わらず、無農薬として出荷される「甘夏事件」が起きる。事件に最も批判的だったのは患者たちであった。今、当時の支援者らも「生産者」として地道に甘夏づくりに取り組んでいる。